

「プールの授業は、命の勉強です!!」

6月13日(金)、前日とは違って変わって真夏を思わせる太陽が照りつける中、桂川東小学校で、子どもたちが待ちに待ったプール開きが行われました。

冒頭の挨拶に立った熊谷教頭先生は、「プールの授業には、2つの大事な目的があります。」一つは、水に入ることと体を鍛えることです。「そして、水に親しみ泳げるようになることで、これからの季節、海やプールなど、どんな時でも自分の命を守ることができるようになる大切な勉強ということを理解して取り組んでください」と話され、子どもたちは皆、大きな声で「ハイ!」と返事をした後、元気に水しぶきをあげていました。



▲6月6日に行われたプール清掃(桂川東小学校)



▲熊谷教頭先生の「プールの授業は、命の勉強」の話を真剣に聞く子どもたち



命を守るすべを学ぶ水



命を養うすべを学ぶ水

命を養う水・泥!! 田植えの授業

6月19日(木)、時折小雨が降る中、毎年恒例の桂川小学校5年生による田植えの体験授業が行われました。

私たち日本人が主食としているお米が、食卓に並ぶまでの過程(土を耕す↓種を蒔いて苗を作る↓田に水をひく↓代掻き↓田植え↓水の管理・雑草採り・病害虫予防↓稲刈り↓乾燥・粃穀スリ・脱穀↓お米)を学ぶ一環で、子どもたちは自分たちで種まきをし、育った苗を大事に抱え、恐る恐る田に入っていました。泥と水でぬかるんだ田に足を入れた子どもたちからは「気持ちわる〜い!」と声が出ていました。子どもたちに田植えの指導をされた農家の方の「泥にまみれて、いい経験だ!米作りに限らず、大変さや、ありがたさを知るには、自分自身でやってみるのが一番。」との話かけにコクリとうなづく子どもたちでした。

水・泥と稲が、命を養うお米となる。豊作の秋を楽しみに待ちましよう。



▲「うわ〜!泥んこまみれ!」「お家に帰ったら怒られるゾ〜!」でも、いい体験、いい思い出です。

命を学ぶ水

